栄村議会報

発 行 栄村議会
責任者 福原和人
編 集 議会報編集委員会

第183号

内容：○17期議会新体制　○主な可決案件　○請願・陳情審査結果　○一般質問8名

◆平成29年第4回臨時会◆

5月22日、栄村議会17期議員による初議会を開催し、新体制が決まりました。議長に福原和人氏（小赤沢）、副議長に阿部伸治氏（大久保）がそれぞれ選任されました。また、議会選出の監査委員に上倉敏夫氏が選任されました。新体制を紹介します。

◀写真右：福原和人議長
写真左：阿部伸治副議長

ご挨拶

4月23日の議会議員選挙において10名の議員が選出され、5月22日に開催された臨時議会から第17期の議会がスタートし、議会の組織構成が決定しました。

私は、再び議長選挙に立候補をして当選させていただきましたが、その立候補の所信表明の中で、「栄村議会のあるべき姿」について述べました。

全国の町村議会では、「議会改革」「議会活性化」に向けた取り組みが行われていますが、栄村議会として村民に、地域に分かり易く見える議会活動が必要に思います。

そこで、二つの常任委員会がテーマを決めて積極的に活動すること、地域の課題を関係する常任委員会ごとにしっかり把握して議論し、それを議会全体でまとめて行政機関や関係部署に提言していく組織体系を確立します。

更に身近な議会を目指して、集落懇談会や模擬議会、各種団体との懇談会などについて議会運営委員会で検討して素案をまとめ、全体で議論して決定した上で進めていきたいと思います。

議員各自が法令遵守する中で、政治倫理を徹底して議員資質の向上を図りながら、村民の皆様に親しまれる議会の確立に向けて一層努力してまいります。

宜しくお願い申し上げます。

栄村議会議長　福原和人

委員会紹介

・総務文教常任委員会

福原和人（小赤沢）
現職・5期
55歳・自営業
議長

相澤博文（和山）
再選・5期
70歳・自営業
議会運営委員長

上倉敏夫（雪坪）
現職・2期
65歳・農業
監査委員

月岡利郎（白鳥）
新人・1期
70歳・農業
副委員長

保坂良徳（月岡）
新人・1期
61歳・会社員
委員長

・産業社会常任委員会

島田伯昭（青倉）
再選・5期
71歳・会社員

桑原武幸（北野）
新人・1期
70歳・農業

阿部伸治（大久保）
現職・3期
54歳・農業
副議長

齋藤康夫（原向）
新人・1期
67歳・農業
日本共産党
副委員長

松尾　眞（森）
現職・2期
67歳・ジャーナリスト
委員長

・議会運営委員会

委員長　相澤博文
副委員長　松尾　眞
委員　齋藤康夫
委員　保坂良徳

・議会報編集委員会

委員長　齋藤康夫
副委員長　月岡利郎
委員　桑原武幸
委員　保坂良徳
委員　福原和人

平成29年5月臨時会・6月定例会　主な可決案件

案　件　名	内　　容
―5月臨時会―	
◆栄村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	・総務文教常任委員会並びに産業社会常任委員会の委員の人数を「6名」から「5名」に改める ・平成29年5月21日から適用
◆専決処分について【平成28年度栄村一般会計補正予算第13号】	・財源区分の変更：平成29年度に繰越した「空き家対策事業費」の財源について「栄村東日本大震災復興交付金基金繰入金1千49万7千円減額し、繰越金を1千49万7千円追加
◆専決処分について【平成28年度栄村介護保険特別会計補正予算第5号】	・財源区分の変更：給付費の増が見込まれる「高額介護サービス費」と「居宅介護予防サービス給付費」で、それぞれ60万円と180万円を追加し、同額の240万円を不用が見込まれる「居宅介護サービス給付費」から減額するもの
◆栄村福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	・乳幼児及び児童生徒の定義の日付の変更として、4月1日を3月31日に修正し、また福祉医療費の支給対象年齢について、病気等やむを得ない事情等により高校入学が遅れ、18歳から20歳未満の高校在学時も福祉医療費の支給対象となるようにするため
◆栄村監査委員の選任について	・上倉敏夫氏（雪坪）再選
―6月定例会―	
◆専決処分について【栄村税条例の一部を改正する条例について】	・所得割の課税標準において、特定配当と特定株式譲渡所得の課税方式の決定に関する規定であり、地方税法及び同施行令の改正による字句等の改正及び追加など
◆専決処分について【栄村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について】	・低所得者に対する国民健康保険税の減額措置についての規定であり、地方税法施行令第56条の89で定める国民健康保険税の軽減基準額が改正されたことにより、条例第23条第1項第2号における5割軽減の一人当り基準額26万5千円を27万円に、同じく同3号における2割軽減の一人当り基準額48万円を49万円にそれぞれ改正
◆平成29年度栄村一般会計補正予算（第1号）について	・4月の定期人事異動に伴う人件費の増減、新規雇用奨励事業補助金、原材料支給事業費、観光施設改修工事費、森宮野原駅交流館維持管理費などの追加 ・補正額：65,555千円
◆平成29年度栄村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）について	・前期高齢者納付金追加 ・補正額：81千円
◆平成29年度栄村国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）について	・診療所施設内の修繕料、医療機器の消耗品と修繕料、人事異動に伴う人件費の減額など ・補正額：▲1,717千円
◆平成29年度栄村介護保険特別会計補正予算（第1号）について	・公用車燃料費、事務用備品購入、新規リース車の保険料並びに借上料、人事異動による減額など ・補正額：214千円
◆平成29年度栄村簡易水道特別会計補正予算（第1号）について	・人事異動による職員人件費の追加 ・補正額：98千円

案　件　名	内　　容
◆平成29年度栄村スキー場特別会計補正予算（第1号）について	・人事異動による人件費の追加 ・補正額：4,712千円
◆栄村保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	・子ども・子育て支援法の一部改正に基づいて、国の新基準に合わせて保育料の徴収金額の変更を行うもの。第2階層の村民非課税世帯の改正前3歳未満児6,000円、3歳以上児4,000円に対して第2子についてはそれぞれ半額の3,000円と2,000円であったが、改正後第2子は無料
◆栄村農業委員会委員の任命について	・樋口金也氏（小滝）、渡辺利正氏（横倉）、宮川一哉氏（野田沢）、廣瀬秀勝氏（森）、島田裕水氏（青倉）、齋藤元一氏（天代）、油科恵子氏（平滝）、中村久美子氏（長瀬）、桑原全利氏（北野）、樋口秀孝氏（森）、計10名
◆財産の取得（ロータリー除雪車）について	・220kw級：村道等の除排雪のため1台 ・取得価格：43,740千円
◆財産の取得（スクールバス）について	・児童生徒の安全な通学環境整備のため ・取得価格：8,088,606円
◆栄村教育委員会委員の任命について	・渡辺要範氏（横倉）

請願・陳情　審査結果

請願件名	請願内容	請願者	紹介議員	審査結果
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	1.教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元すること。	栄村教職員組合 代表　執行委員長 栗岩　淳	齋藤康夫	採択 採択に対して 賛成９名 （議長除く）
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	1.農業者戸別所得補償制度を復活させること。	栄村農民組合 代表　石澤　正	齋藤康夫 阿部伸治	採択 採択に対して 賛成９名 （議長除く）

陳情件名	陳情内容	陳情者	審査結果
「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	1.へき地手当及びへき地手当に準じる手当の支給率を、へき地における教育の機会均等と教育水準の向上をはかるため、都市部との格差、いわゆる相対的へき地性がいっそう拡大している実情を十分把握しつつ、近隣県との均衡を勘案し、2005年以前の定率にもどすこと。	栄村教職員組合 代表　栗岩　淳	採択 採択に対して 賛成９名 （議長除く）
長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書	1.市町村や林業事業体等の関係機関の意見を聴きながら、森林税活用事業の採択要件緩和を検討するなど、森林税の有効活用を図ること。 2.森林税の適正な活用に努めること。 3.今後も森林税を継続するに当たっては、森林づくりの意義を改めて広く県民に周知し、山村、中山間地域の活力となるよう取組を進めること。	長野県庁信頼回復の会 代表　小泉　一真 （長野市議会議員）	採択 採択に対して 賛成９名 （議長除く）

阿部伸治議員

観光レクリェーション施設の改修について、どのような方向に進めていくのか。

村長　研究会を設け結論を出すように投げかけてある。

観光レクリエーション施設の改修について

質問　各施設とも歴史を重ね不具合も目立つようになっている。今後どのような方向に進めていくのか、村の姿勢を伺う。①建て替えの話しも出ている「雄川閣」についてはどのように研究が進んでいるのか。②「トマトの国」の急階段は不評の声が多い。改善策はないか。③景観上の立地条件の良い「のよさの里」の構造はお客様のニーズに合っているか。④「トマトの国」の一部を長期滞在型にしたが、利用者の声は？利用状況も併せて伺う。

村長　「雄川閣」については、建て替えか、維持か。「のよさの里」に関しては閉鎖ということも含めて研究会を設け結論を出すように投げかけてある。「トマトの国」や「北野温泉」など公社で運営している施設や「観光協会」、「スキー場」、「道の駅」、「直売所」全てを含め検討するように指示してある。

商工観光課長　研究会は開いた経過はあるが、回答が出ていない状況である。「トマトの国にエレベーターを」ということだが、前向きに検討したい。長期滞在施設に関しては「居心地は良い」と聞いている。利用状況は現在3名3室。

要望　改修時の考え方としては公社の運営も考えなければならないところだが、村民が利用しやすいような施設づくりに主眼を置き、進めていくことを望む。

水源地の買収について

質問　切明の私水道水源地を村が買収し、利用料も取らないということに様々な意見が出たところだが、他国からの買収に備えるため、その他の水源地も村有化するとの考えを聞いた。そのスケジュールは。また買収費用は商工費から出ているが、担当課はどこか。

村長　国土調査が終わっていないと経費が掛かるので、終わった所から順次進めていく。単価交渉までは産業建設課で進めていく。また切明の水道に関しては、一部を観光の水源にも利用する。今後は温泉から水道関係については村で一括管理するように進めている。

保坂良徳議員

村長の防災に対する考えは。

村長　第6次振興計画に基づいて村民の防災意識を高める。

村の防災対策について

質問　震災から6年、村長の言う「日本一安心して住める村」とは。村長の防災に対する考えを伺う。

村長　建物、水路、構造物については、ほぼ復旧し、新たな方向に進める。第6次総合振興計画に基づき村民の防災意識を高め、自主防災組織も研究する。また、広域連携による機能強化をしていく。

質問　震災後にできた防災計画に沿って、3年間どのような対応をしてきたのか。

総務課長　消防施設の改修整備、公民館の耐震化、デジタル無線機の整備、防災マップの配布、防災訓練、放射能測定器、旧東部小学校体育館吊り天井の撤去、民間との連携協定、特設の公衆電話の設置等で約5億円の事業をしてきた。

質問　今後の第6次振興計画の中で、孤立集落や集落内孤立を防ぐためにも、避難所まで安全に避難をするためにも、集落内の道路の拡幅や複線化、より分かり易い防災マップの作成と表記が必要では。

総務課長　道路整備は防災だけでなく生活環境面からも整備が必要だが、山村地形から難しい。防災マップは集落の構造と構成の変化に伴い見直しが必要である。

質問　災害発生時の拠点となる役場職員の防災意識の向上と行動の明確化が必要では。

総務課長　理事者から「今年度から職員研修を強化していく」とあり、研修に防災の項目も入れて強化していく。

質問　消防団員は村の防災の要であり、団員確保の観点からも処遇改善が必要では。人口が減少する中で、新たに自主防災組織をつくるのは難しいのでは。

総務課長　栄村としての防災体制を構築しなければならない。地元と消防団が連携しないとこの地域は守れない。これが栄村の防災の基本であるので団員の処遇も、自主防災も、消防団と地元と相談をする中で、今よりも良いものにしていきたい。

松尾眞議員

村長への村民の信頼、支持は高まっているか。

村長 自主財源が5%に満たない村で、おカネを見つけてくるのは本当に大変だ。

村長就任から1年を経て

質問 村長が1年間村政をつかさどってきて、村民からの信頼、支持をどの程度勝ち得ているか、率直な認識をお聞きしたい。

特命対策課について、嘱託職員の応募時の作文内容のどういう点で採用されたのか、選考から1年近くを経て、どのように評価しているのか。

村長 29年度、私の公約したものをこなさなければならない。ほぼラインは引けた。

自主財源が5%に満たない村で、おカネを見つけてくるのは本当に大変で、今つくづく感じている。予算はおおよその方向性が国、県を通じて確保できるだろうと感じている。

特命対策課の具体的事項は事業が整ってきていれば広報で周知している。今取り組んでいる関係は、事業が成功した関係だけ申し上げたい。国、県、また要望関係で、最終的に私がお願いに上がっているわけだが、そちらの返事をいただけない限りは、事細かなことが流れても困る。

観光協会職員の人件費への補助が必要

質問 観光協会の中心を担う職員を確保するためには、職員が自分の身は1年あるいは2年しか保障されていないというのでは困る。5年から10年程度の範囲で観光協会の事務局を担う人材を確保するべく村が補助金を出すと明示する必要があるのではないか。

村長 いま3名の職員がいる。いつ首になるか心配ではノビノビ仕事ができない。確保する必要があると考える。

質問 当初予算、今回の補正予算で3名分の人件費はついていない。ただちに充分な手当てをするという考えを表明されたい。

村長 今回の補正予算には事業のみ大所の企画書が出てきたので補正した。人件費については今回の補正では考えていない。

齋藤康夫議員

JA以外の一等米も補助金の対象に。

村長 是非JAへの出荷を望む。

ふるさと納税補助金について

質問 現在JAに出荷した米で等級は「特A」だけが補助金の対象となっている。JA以外の一等米も対象にしていただきたい。長年に渡って「栄村米」を宣伝し、築いてきた組合等も品質の向上も確保し、JAの「特A米」と変わらない。平等性の立場からみて補助金の対象にしてはどうか、村長の考えは。

村長 米の品質向上に向けて、現在JAの出荷米の中でも「特A」「一等米」が90%近くまで上がってきている。農家の技術も良くなった。しかし、「JA以外の一等米にも」となると「特A」で力が入っている人が今度削られる。寄付の上限は決まっているので、その上限の金額の中でお金を振り分けるしかない。是非JAへの出荷を望む。

坪野水路改良工事の進捗状況について

質問 県営中山間地総合整備事業の「坪野水路」の長期間の願いであるパイプライン化の実現を求めてきたこの事業の進捗状況は。

上倉参事 国の予算配分が厳しい状況が続いている。予定通りに進んでも34年度の完成予定だが、村からも早期に工事が終わるよう県へも要請している。

憲法改悪 9条に「自衛隊」を明記

質問 安倍首相が2020年と期限を切って9条改悪を宣言。9条は「戦力を持たない」「戦争をしない」と決めたもの。日本国憲法は「憲法第9条」という世界で最も進んだ恒久平和主義の条項を持っている。この9条を改定して「自衛隊」を明記する。海外で戦争ができるようになる。これでよいのか。

村長 私は憲法解釈者でもないので個人的見解や意見等持っていない。国会においては昨年安全保障関連法案が可決されている。これは日本の安全保障を考えたものであって、具体的、現実的な議論の末での日本国民の生命、財産を守るための法案改正整備だと思う。戦争については誰もが反対だと思う。

島田伯昭議員

栄村のための人口対策計画は。

村長 栄村総合振興計画の第6次版に記載したとおり。

人口政策について

質問 人口対策計画は平成52年の目標人口を1，400人と定めているが、人口対策に対する構想、計画、実施について総合振興計画に導入する考えについて伺う。

村長 平成29年3月の定例議会において議決した「栄村総合振興計画の第6次版に記載したとおりである。

質問 人口を維持していく政策、人口が減少しても安心できる政策が求められるが、住民が恐がる暴力、過激活動等の対策は。

村長 平穏な村民生活の確保等のために「栄村暴力団排除条例」の設置、暴力団排除設置を講ずるための連携に関する協定書を飯山警察署と提携している。今回、国において「組織的犯罪処罰法案テロ等準備罪」が決まり、国内外の過激派集団、テロ集団、暴力団等の組織的で重大な事件から、国も一般人を未然に事故から防ぐための対策だと思う。村もそういったことを考えていかなければと思う。

総務課長 栄村の最重要課題は「人口対策」であるので、総合振興計画に対して総合的に検証する委員会を立ち上げたい。

青倉・森地区生活飲料水について

質問 ①青倉簡易水道施設は老朽化が進み、水質変化が住民より報告されているが対策と実施について伺う。②森地区の現在の水源を停止し、震災前の水源を活用した飲料水の供給を進める考えは。

産業建設課長 ①青倉地区の水道は来年配水池の築造工事の計画である。②森地区については震災前の水源に戻すことが一事業、現在の水源供給の配水管の管路清掃を一事業として取り組んでいる。

県境の道路拡張について

質問 旧宝山荘付近の道路拡張について、村はどのように考えているか。また道路整備を共有するために津南町上郷地区との住民交流を進める必要があると思うが、取り組みについて伺う。

村長 津南町とは行政、人的交流が長い間あるが、更に良きパートナーとして協力していく。

産業建設課長 道路関係について、本年6月7日、十日町地域振興局関係者の現地視察が実施された。

月岡利郎議員

飯山市や野沢温泉村も含めた広域的な避難所の建設についての考えは。

村長 広域化も考えなくはない。

豊栄地区の避難所について

質問 震災から6年3ヵ月が過ぎて、避難という認識が薄れてきたように思われる。災害は色々なことが想定される。安全な場所への避難についてどう考えるのか。また豊栄地区の避難所の件も白紙になったとも聞いている。災害に対する備えは必要である。飯山市や野沢温泉村も含めた広域的な避難所の建設についての考えは。

村長 円滑な避難を呼びかけるために「防災マップ」を全戸に配布した。村民の生命を守るためには災害に応じて「第一次避難所」、「第二次避難所」と、安全な場所に保護する施設が必要である。豊栄地区の第二次避難所の建設についてはまったく無しにしたという考えではない。各地域の皆さん、地元の皆さんの考えを聞き取って、避難できる距離を短くし、災害が起きた時は「第二次避難所」へ直ぐに入れるという形の場所は考えなければならないだろうと思っている。また総合的に考えれば、「広域化」も考えなくはない。

総務課長 今までの経過から、平成26年3月に策定した栄村の地域防災計画における豊栄地区の第二次避難所は、「栄中学校」または「かたくりホール」という規定になっている。28年度の当初予算に第二次避難所の建設費を1億5千万円計上した。28年度末が期限の「緊急防災減災事業債」という起債である。申請期限が10月で、内容については課題が多く、28年度中の建設は困難であった。全て白紙に戻ったということではなく検討はしていく。

企業誘致と働く場の確保について

質問 マスコミにも取り上げられた「バイオマス発電」のこれまでの交渉過程と今後の村として取り組み方について伺いたい。

村長 本来であれば建設が進んでいるはずだが進んでいない。今年度中に結論を出す必要があると感じている。

総務課長 田植えが終わった頃、説明会の申し入れをしてある。

上倉敏夫議員

介護保険料の軽減と医療費窓口無料化の実施を。

村長 ご指摘のとおり、今後研究をし、対応する。

介護保険事業及び医療費の窓口無料化について

質問 再三申し上げてきたことだが、医療費、介護の負担が増え、後期高齢者の保険料も上がり、更に来年度から国民健康保険税も不透明で、高齢者や村民の不安は募るばかりである。①介護給付費及び介護保険料の増高は、2000年の制度創設以来、ほぼ3倍になっている。村民の負担は限界にきている。特に介護保険料の軽減をすべきではないか。②村では既に県に先駆け高校生まで医療費無料化となっている。県では来年度中に中学生まで窓口無料化をすると言っているが、高校生まで拡大できないか。③65歳に到達して、新たに介護保険の1号被保険者になった人への周知はどうなっているか。

村長 ①介護予防に力を入れて介護給付費の増高の抑制に努めたい。通所介護（デイサービス）は村社協が7月から総合事業を含めた通年運営を実施する。介護保険料については本年度改定の年であり、研究し対応したい。

住民福祉課長 ②医療費窓口無料化について長野県では来年8月から中学生まで窓口無料化となる。（県内の医療機関の窓口でレセプト1件当たり300円の支払いで済む）栄村の高校生については、医療費は無料だが窓口無料化にならないため従前のとおりの償還払いとなる。（医療機関で負担した医療費を後日個人の口座に返す）

健康支援課長 ③今年度から該当者に職員が訪問し、制度説明を行う。

県営中山間地総合整備事業「栄地区」について

質問 水路関係について、本年度予算が付いたのか。

上倉参事 水路関係については本年度全体で1，800万円、ご質問の坪野水路に1，000万円の予算付けがされた。2・7kmの測量を行う。現時点では、完成は早くても平成34年になる見通しとなっている。

桑原武幸議員

村長はどのように土合橋の早期完成を目指すのか。

村長 早期完成に向けて県や国へ県会議員、国会議員を通じて要望している。

「土合橋」早期整備完成について

質問 平成27年度より工事が着工されているが、今年度の完成は見込めないと感じる。住民生活、観光に重要な土合橋の早期完成は多くの住民が望むところである。村長はどのように早期完成を目指すのか。また、土合橋の完成と周辺整備について、どのような施策を考えているのか伺う。

村長 橋の整備について、地域住民の生活道路、農業用道路、また観光用道路でもある。早期完成に向けて29年度で追加補助をいただけないか活動している。長野県要望は県議会議員も加わって県へ要望、県関係だけでなく国の方へ国会議員を通じて直接要望を実施している。早期完成を目指し、単年度で終わらせたいと要望で上げている。当初の計画には無い大型バスの往来も楽になるよう道の整備も計画したい。

産業建設課長 本事業は国土交通省が所管し「社会資本整備総合交付金復興通常事業」の採択を受けて実施している。平成25年度に調査設計が始まり27年度から本工事に着工した。総事業費4億5，400万円という予定で現在進めている。29年度要望した1億5，000万円に対し、現在4，800万円で32％の割合となっている。これに基づき早期完了を目指し要望活動していく予定である。新しい橋が供用できたら現在の土合橋は撤去する予定。北野川の現道は橋梁下への管理道路とし現状のまま管理していく。新しい道が高い位置にできるが、現在の道とは窪地にならないように成型し植栽等考えている。

要望 来年で4年目に入るので完成できるよう目指してほしい。坪野、原向、天代地区も高齢者が多く、今のままでは通行が大変不便で、冬期間の除雪も今の環境では苦労しているように感じる。緊急時には困難が予想される。1日も早い完成は地域の皆さんからの要望である。